

2024年 4月 10日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 入間・瑞穂クリハラリス問題対策グループ
代表者・役職名 氏名 重昆達也（代表）

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

瑞穂町及び周辺地域における特定外来生物クリハラリスの根絶への最終段階の取り組み

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2011年に埼玉県入間市および東京都瑞穂町において特定外来生物クリハラリスが野生化していることに気がつきました。生息域を拡大させないよう緊急的な対応が必要でしたので、クリハラリス問題の専門家、自然環境調査会社の社員、野生動物問題を学ぶ学生ら10名により自主ボランティア組織を発足させ、完全根絶を目指した捕獲活動を開始しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

近年、日本各地で外来生物が引き起こす問題が深刻化しています。特に東南アジア原産のクリハラリスは外来生物法により特定外来生物に指定されており、生物多様性保全の観点からの問題だけでなく、個体数が増えてしまった地域では社会問題化もしています。外来生物問題が深刻化する原因のひとつに、侵入初期段階での早期対策(捕獲)が行われないことがあります。当グループではクリハラリス問題に対して早期対策に取り組んだモデルケースとなるよう、2011年から捕獲を開始しました。その結果、2017年を最後に再発見がありません。現在は、完全根絶したかどうかの最終段階の確認(モニタリング)を行っています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①生息確認調査

東京都瑞穂町および隣接する青梅市、埼玉県入間市の樹林を対象に、目視観察、古巣調査、音声再生調査(リスの鳴き声を使って誘引し確認する方法)、無人カメラ調査を組み合わせクリハラリスが残存していないかをモニタリングしました。このモニタリングは2014年度から開始し、2025年度を目標に継続しているものです。

②捕獲作業

①生息確認調査においてクリハラリスが再発見された場合は直ちに捕獲作業を再開する予定でしたが、2023年度は再発見がなかったため、捕獲作業は行いませんでした。

③普及啓発活動

瑞穂町役場や入間市役所の担当部署に状況説明と協力依頼を行いました。また、一般市民向けに地元図書館で瑞穂町・入間地域でのクリハラリス問題について講演を行いました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

約 30 カ所の孤立林に対し、約 70 地点での音声再生調査、12 地点での無人カメラ設置、のべ調査員数 17 人日の生息確認調査を行うことで 2023 年度もこの地域にクリハラリスの残存個体はいない可能性が高いことを確認することができました。特に以前使用していた無人カメラは老朽化してしまい、稼働するの不安な状態で使用していましたが、今回無人カメラを更新できたことで調査精度が向上しました。当事業が成功した場合、侵入初期段階での早期捕獲が重要なこと、小規模な個体群であれば市民ボランティア程度でも低予算で根絶が可能なこと、モニタリングの有用性と根拠のある根絶宣言を示すことについてのモデルケースになることが期待され、クリハラリス問題に悩む他地域での応用が期待されます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

少数のクリハラリスがいまだ残存していた場合、個体数が再び増加し、試算上 2025 年度までには再発見される可能性が高いと予想されます。つまり 2025 年度になっても再発見されなければ、瑞穂町・入間市地域でのクリハラリスの根絶に成功したことになり、「根絶宣言」をする予定です。それまで自主ボランティア組織を維持することが課題となっています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

